



PF20XD

使用説明書

Instruction Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manuale di istruzioni

Manual de Instrucciones

사용설명서

使用説明書

SUNPAK®

はじめに

このたびは、サンバックPF20XDをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

ご使用にあたっては、この使用説明書をよくお読みになり、内容を良く理解して正しくご使用ください。

ストロボを安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを説明しています。

よくお読みになり、取扱いには充分にご注意ください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



警告

- 機器を開けたり改造しないでください。高圧回路があり、火災、感電または障害の原因になります。
- 当社指定以外の付属品を使用しないでください。火災、感電または障害の原因になります。

- 機器を落としたり破損した場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 機器を人の前（特に乳幼児）に近づけて撮影しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は、1m以上離れてください。
- 電池を入れるときは+・-を正しく入れて下さい。また電池を交換するときは全部を一度に同一メーカー、同一種類の電池を入れて下さい。誤った使い方は、漏液・発熱・破裂の恐れがあり、電池寿命が短くなったり、接触不良の原因になったりします。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで機器を使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入った場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所では使用しないでください。火災、感電または傷害の原因になります。
- 可燃性ガス及び爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。



注意

- 水の飛液や水滴にさらさないでください。
- バッテリーを高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 直射日光の当たる埃の多い場所や湿気の多い場所に置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所で機器を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコール等で機器を拭かないでください。機器の変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布でから拭きしてください。

目次

各部の名称	3	カメラとストロボの設定方法	5
電池の入れ方	4	内蔵ワイドパネルの使い方	6
電源の入れ方	4	撮影上のご注意	7
撮影の準備	4	主な仕様	7
本機の取付方法	5		

各部の名称



電池の入れ方

- ①電池カバーをはずし、+・-を間違わないように挿入してください。電池の配列を間違えると故障の原因になります。

※本機にお使いいただける電池の種類

- 単 4 形アルカリ乾電池
- 単 4 形オキシライド乾電池
- 単 4 形ニッカド電池
- 単 4 形ニッケル水素電池



- ②電池を押し込むようにして電池カバーを閉めてください。

電源の入れ方

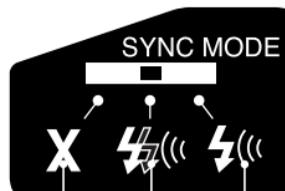
- ①オン・オフダイヤルを ON 側に回してください。チャージ（充電）が始まり、しばらくして発光準備完了のテストボタン（TEST）が点灯します。

- ②電源を切るときはダイヤルを OFF の位置に合わせてください。

撮影の準備

シンクロモードスイッチをご使用になるカメラのストロボ発光方式と本機の発光方式を合わせるためのスイッチです。

設定は電源を入れる前に行います。一度設定しておけば、以降の撮影時は電源の ON・OFF のみで再度設定し直す必要はありません。以下の各発光方式のスイッチ位置をご確認の上、ご自身のカメラに合ったスイッチ位置に設定してください。なお、スイッチの操作はボールペンのペン先などをご利用ください。



ホットシュー ———— プリ発光タイプ ———— 非プリ発光タイプ

ホットシューでの使用以外で発光方式がプリ発光タイプか非プリ発光タイプのどちらか判らない場合は、最初に中央の「プリ発光タイプ」の位置に合わせて発光させてみてください。お使いのカメラがプリ発光タイプの場合には、同時に発光しますが、非プリ発光タイプの場合には同時発光をいたしません。その場合にはモードスイッチを「非プリ発光タイプ」に位置に合わせてお使い下さい。また、カメラ側のストロボモードは「強制発光」にセットしてください。さらに赤目軽減機能をセットしてある場合はそれを解除してください。

本機の取付方法

PF20XD の取付には 2 つの方法があります。

- ①カメラのホットシューに直接取り付ける場合
PF20XD のシューをカメラのアクセサリースューに差し込み、ロックリングを回して固定してください。
- ②ブラケットを利用してカメラと一緒に取り付ける場合（ホットシューが付いていないカメラを使う場合）
付属のブラケットにカメラを取り付けます。ブラケット左端のシューアダプターに PF20XD を差し込み、ロックリングを回して固定してください。

※シューアダプターは、回せる構造になっています。



カメラとストロボの設定方法

●フルオートカメラやプログラムモードで使用する場合

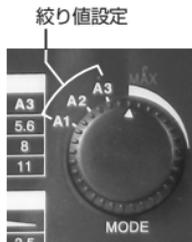
- ①カメラの撮影モードを「プログラムモード」にします。
- ②本機のモードダイヤルを **MAX** の位置に設定します。
- ③この状態で、テストボタンを押してテスト発光を確認します。

※モードダイヤルの MAX (光量最大) から MIN (光量最小) まで 5 段階調節ができますので、適正な露出が得られるポジションをお選びください。



●マニュアル設定が可能なカメラでご使用の場合

- ①カメラの撮影モードを「M・マニュアル」にします。
- ②カメラの ISO 感度が設定できる場合は、設定した感度をご確認ください。
- ③適当な絞値をモード切替ダイヤルから選択して設定します。絞値設定の際には、カメラ側の ISO 感度と本機背面パネルに示してある指標を参考にしてください。
- ④本機の発光モード切替ダイヤルで選択した絞値とカメラ側の絞値を合わせます。



PF20XD

AUTO (F/STOP)

ISO	A1	A2	A3
100	2.8	4	5.6
200	4	5.6	8
400	5.6	8	11

MANUAL (GN)

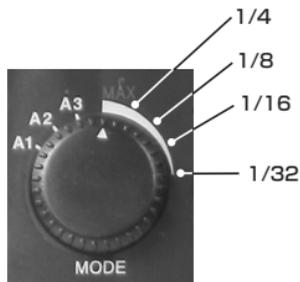
ISO	MANUAL (GN)		
100	20	7	3.5
200	28	10	5
400	40	14	7

※次のような場合は、マニュアルモードにてお使いください。

- ①オートで定められた以外の絞値を使用したいとき。
- ②日中シンクロや逆光撮影、または増灯撮影をするとき。
- ③被写体の周囲に光を反射するものがあり、それらがファインダーに入るとき（鏡、ガラス、結婚式の金屏風など）。

パワーレシオのご使用にあたって

- PF20XDは、MAX の位置から時計回り順にMAX・1/4・1/8・1/16・1/32 と 5 段階に光量を選択することができます。



内蔵ワイドパネルの使い方

本機には「内蔵ワイドパネル」が装備されています。このパネルを使用することで照射角度を拡げたり、ストロボ光を拡散（ディフューズ）させることができます。

このパネルを使用しないときの照射角度は 35mm レンズ（135 判フィルム換算）相当

です。ワイドパネルを使用することで 24mm レンズ（135 判フィルム換算）相当まで対応可能になります。

使用時には内蔵ワイドパネル上端の突起部を指などで引っ掛けて上部へスライドさせて使用します。

収納時には突起部を使用時と同様に指などで引き下げてロックを外し収納します。この内蔵ワイドパネルを使用すると光量は約 1 絞りほど弱くなります。



撮影上のご注意

- ①被写体からの反射光をスレープセンサーが感知して同調発光しますが、反射光が少ない場合には同調できないことがあります。
- ②内蔵ストロボ光だけで光量が十分な距離では、本機を併用すると露出オーバーになる場合があります。内蔵ストロボ光だけでは光量が不足するような場合に本機をご使用ください。
- ③ホットシューに取り付けて使用する際も、スレープ機能の解除は出来ません。
- ④本機を使用中に他の人がストロボを発光させると本機が同調する場合があります。
- ⑤ストロボ前面のオートセンサーは適正な光量を計測する大切なところですので。ゴミやホコリで汚れないようにしてください。また、カメラを構えるときに指などで、ふさがないようにご注意ください。
- ⑥必ずオート有効範囲内で撮影をしてください。
- ⑦被写体の手前に反射率の高いもの(白いテーブルクロス、白い花、白っぽい置物など)があると露出不足になることがあります。
- ⑧正しい発光量を得るためにモードダイヤルはクリック位置に従ってご使用ください。クリック位置から外れていると、正しい発光量が得られません。
- ⑨機器を異常消費させないために、MAX 位置で連続発光させた場合は、最大で 10 カットで止め、10 分ほどストロボを休ませてください。

PF20XD の主な仕様

ガイドナンバー	20
調光方式	外部調光オート、パワーレシオ
ワイヤレス機能	プリ発光キャンセル付スレープ
電 源	単 4 形電池 2 本* ¹
発光間隔	アルカリ電池
(フル発光時)	ニッケル水素電池
発光回数	アルカリ電池
(フル発光時)	ニッケル水素電池
オート有効距離(焦点距離 35mm 時)	F2.8 1.5-7m/F4 1-5m/F5.6 0.7-3.5m
パワーレシオ	Full, 1/4, 1/8, 1/16, 1/32
照射角度	24mm(内蔵パネル)以上の焦点距離をカバー
閃光時間	約 1/2,000 ~ 1/30,000 秒
ワイドパネル	内蔵タイプ 24mm 相当
大きさ (高さ×幅×奥行)	約 58 × 78 × 29mm
質 量 (重さ)	約 100g
付属品	ブラケット

* 1: アルカリ・ニッカド・ニッケル水素・オキシライドの各種電池に対応しています。